

日本鉄鋼協会記事

31 年度第 12 回理事会 日時：32—2—26 (火) 会場：協会々議室。出席者：角野会長，志村副会長，浅田，入，河上，西郷各理事。俵，西村各監事。田中前会長。伊木，佐藤，辻畑，長谷川，三橋，山本，横山各常務委員，的場支部長，橋本事務局長。

報告事項 I. 編集委員会の件(別掲)。II. 企画委員会の件。III. 第 2 回溶接シンポジウムの件。IV. 秋季講演大会の件。

協議事項 I. 次期理事，監事および評議員候補者推薦の件—選考委員会選定の通り決定。II. 昭和 31 年度事業報告ならびに収支決算の件—原案の通り承認。III. 昭和 32 年度事業計画ならびに収支予算の件—原案の通り承認。IV. 表彰ならびに事業規程制定の件—原案の通り決定。V. 表彰規程制定の件—原案の通り決定。VI. 昭和 32 年度表彰者の件—選考委員会選定の通り決定。VII. 溶接連絡委員会代表委員の件—井上，堀川両編集委員に委嘱のことに決定。VIII. 日本学術会議中央選挙委員会委員候補者の件—横山常務委員を推薦のことに決定。IX. 鋼の熱間抽出法に関する講演会の件—Séjournet 氏に講演依頼のことに決定。X. 材料試験連合講演会参加の件—開催期日の都合により参加，運営委員を三橋常務委員に委嘱のことに決定。XI. 八幡製鉄渡辺記念資金寄贈の件—受領のことに決定。XII. 1 月中および 2 月(20日まで)中入退会者その他会員異動の件—承認。XIII. 1 月中および 2 月(予定)収支決算の件—承認。

32 年度第 1 回理事会 日時：32—3—29 (金) 会場：協会々議室。出席者：角野会長，志村副会長，河上，西郷各理事。西村監事。松下，山岡，田中各前会長。佐藤，山本，辻畑，長谷川，森永，横山，吉田各常務委員，橋本事務局長。

報告事項 I. 編集委員会の件(別掲)。II. 春季大会に関する件。III. 支部長会議開催に関する件。IV. アーノルド氏講演会の件。V. 第 3 回大河内記念賞受賞者の件。VI. 「鋼の熱処理」完成の件。VII. 中国四国支部講演会の件。

協議事項 I. 八幡製鉄渡辺記念資金の件—通常総会の議決を経て八幡製鉄株式会社に感謝状を贈呈すること。また資金の元本は，三井，三菱，安田，住友各信託銀行に貸付信託として預入れることに決定。II. 賛助会員推挙の件—懸案とする。III. 40周年記念事業費の件—残余金をもつてテープレコーダーおよびラウドスピーカー購入のことに決定。IV. 材料試験連合会講演会の件—参加決定，運営委員を森永常務委員に追加委嘱のことに決定。V. 原子力委員会の件—取り敢えず準備委員会を設けることとし，佐藤(主査)，長谷川，橋口，辻畑，山本，森永，松本，吉田，堀川，作井諸氏に委員を委嘱のことに決定。VI. 2 月中および 3 月中入退会その他会員異動の件—承認。VII. 2 月中収支決算の件—承認。

支部長会議 日時：32—4—4。会場：協会々議室。出席者：前田北海道支部理事。室町北陸支部理事，足立関西支部理事。湯川九州支部長。志村副会長。西郷，入各理事。沢村前会長，山本常務委員。橋本事務局長。議事：I. 本部よりの報告。II. 各支部の事業状況報告。(中国・四国支部より書面提出) III. 本部支部間の連絡について。IV. 本会発展に関する意見交換。

31 年第 1 回評議員会 日時：32—2—26 (火) 会場：協会々議室。出席者：桂評議員外 85 名(委任状とも)

議事 I. 次期理事，監事，および評議員候補者推薦の件。II. 昭和 31 年事業報告ならびに収支決算の件。III. 昭和 32 年事業計画ならびに収支予算の件。IV. 表彰ならびに事業規程制定の件。V. 表彰規程制定の件 VI. 昭和 32 年度表彰者決定の件—以上何れも原案の通り承認可決した。

第 42 回通常総会 4 月 2 日午後 0 時半東京工業大学会議室において開会，各議事を審議の後，感謝状贈呈式および表彰式を挙げる。1 時半散会した。(詳細は 5 月号に掲載します)

昭和 32 年度春季講演大会 4 月 2, 3, 4 の 3 日間にわたり，東京工業大学において開催された。また 2 日午後 1 時半より特別講演会が催され，3 日午後 6 時より学士会館において懇親会が開かれた。5 日には東京都および近隣の工場等 18 箇所の見学が行われた。(詳細は 5 月号に掲載します)。

電気炉に関する講演会 3 月 27 日午後 1 時から東京都千代田区丸の内工業倶楽部において開催，次の講演が行われた。

講演題目「米国における電気炉 50 年の歩み」講師 American Bridge Division, Mr. Samuel Arnold
通訳は八幡製鉄株式会社伊藤ジャンヌ夫人。講演の後質疑応答があつた。当日の参会者約 200 名。

関西支部事務所移転 関西支部では事務所を次の通り移転した。

大阪市都島区東野田町 9 丁目 大阪大学工学部内

31 年度第 11 回編集委員会 日時：32—1—29 (火) 15:00~20:00。会場：丸ビル精養軒。出席者：河上理事外 13 名。

報告事項 32 年 1 月号は 1 月 5 日完成，2 月号は 2 月 5 日完成予定。

協議事項 (1) 32年4月号原稿選定の件—別紙(省略)の通り選定。(2) 会誌改善に関する件(次回)(3) 鉄鋼技術共同研究部会報告に関する件—各部会活動状況の要点(議事録を短縮)を会誌に発表のこと。(4) 溶接論文賞受賞候補者推薦方依頼の件—一次の二論文を推薦のこと。(4) 帯鋼のガス溶接性について(下川義雄外—42年3月号)。(5) 溶接構造用鋼板の材質におよぼす局部的急熱急冷による歪取りの影響(堀川一男外42年3月号)(6) 俵賞推薦の件—別紙推薦表の中より優秀のもの1を2月5日迄記名投票のこと。

臨時編集委員会 日時: 32—2—7(木) 15~20:00. 会場: 協会々議室. 出席者: 河上理事外9名.

協議事項 I. 俵賞推薦に関する件: 2月5日迄に着信の記名投票開票の結果, 推薦番号2の河合正吉の論文が最高点(2票)を以て俵賞候補に決定, その他の推薦番号への投票は1, 3, 4, 5, 8番共各々1票, 協会賞は即日無記名投票の結果推薦番号1, 3番が各々3票で同点決選投票により1番が第1候補, 3番が第2候補に決定.

II. 会誌改善に関する件: (1) 掲載論文の取扱方 (イ)論文を部門別に適当に配分すること〔別紙(省略)は参考のため外誌と本誌との対照, 沢委員作製〕(ロ)論文は講演前刷号中より選定せるものを主体とし自発的寄稿論文については審査の上決定すること。(ハ)講演外の創説論文を依頼すること。(ニ)論文の重複に注意を払うこと。(2) 鉄鋼技術共同研究部会の報告は, その要点を取りまとめて掲載, 取りまとめ方は各部長に依頼すること。(3) 講演前刷号の頁数を倍加し, 号外刊行として全会員に配布し, 普通号は創説論文のみを掲載して発行すること—企画委員会発案—本件は編集陣容と経費の都合で現状下では困難である。(4) 技術資料に関する件: (イ)耐火煉瓦に関する最近事情—各種煉瓦の造り方, 優劣, その他。(ロ)オートメーションに関する記事: 例えば“鉄鋼業とオートメーション”(その利用, その材料)(5) その他の記事: 1) 労働生産性, 2) 工場の紹介, 3) 鉄鉱石の事情, 4) 経営管理, 5) 維持会員会社の製品紹介6) その他興味あるトピック.

31年度第12回編集委員会 日時: 32年2月28日14:00~17:30. 場所: 協会会議室. 出席者: 河上理事外10名.

報告事項 (1) 32年2月号は2月5日完成発送済み, 同3月号は3月10日完成予定.

協議事項 (1) 32年5月号原稿選定の件—別紙(省略)の通り選定済み。(2) 会誌ページ増加の件—10頁増加のこと. 増加頁は下記新設欄を設けてこれに振り向け, 論文の数は従来通り9乃至10題とす.

新設欄: (イ)講義欄(4~5頁)(ロ)翻訳欄(4頁)(ハ)鉄鋼技術共同研究部会記事(3~4頁)(ニ)寄書欄(1頁)

(3) 技術資料の件—モルガシママー式圧延機, この外学振の文献を技術資料欄に掲載(4~5頁)のこと.

32年度第1回編集委員会 日時: 32年3月26日16:30~20:00. 場所: 協会々議室. 出席者: 河上理事外12名.

報告事項 3月号(講演前刷)は3月11日完成発送済み. 4月号は4月10日完成の予定.

協議事項 (1) 6月号原稿選定の件—別紙(省略)の通り選定済み。(2) 講演大要募集要項改訂の件—別紙(省略)の通り改訂, 主なる改訂は前刷原稿枚数を7枚以上11枚以内とし, この枚数内に図表を含ませ, 図の制限箇数を従来の3箇を5箇に増加し本年秋季大会の分より実施のこと。(3) 今次講演会司会者および工場見学代表者の件—別紙の通り依頼のこと(別紙省略)。(4) Iron, Steel and Hardware Journal of India 社より会誌交換申出の件—本件は先方商社につき交換見合せ。(5) 会誌欄別記事取扱責任者の件—下記の通り編集委員にて担当のことに決定.

1. 巻頭言および寄書……委員長.
2. 技術資料および講義録……横山, 松下, 菊地, 皆木, 内山各委員.
3. 抄録および翻訳……沢, 山本, 上野, 松下, 長谷川各委員.
4. 鉄鋼技術共同研究部会記事および学振記事……井上, 堀川, 小野, 松下, 長谷川各委員.
5. 特許記事……中村安彦
6. 鉄鋼ニュース……橋本事務局長.

登録 オイレス 商標

含油軸受メタル

寿命が延びて修理と注油の時間
が減りそれだけ生産が増進する

高温高荷重耐摩耗

＃300(含油鑄鉄材)

耐摩耗緩衝性強靱

＃250(含油合成樹脂材)

無給油メタル

＃100(含油木質)

一層強力を要する場合は含油ミーハナイト材

日本オイレスベアリング研究所代理店 **三和機械株式会社**

東京都千代田区神田佐久間町3-24
電話 下谷(83)7426番
連絡事務所 室蘭, 釜石, 名古屋, 大阪, 広畑